

むしばをみんなでやっつける

四街道市立四和小学校三年 平山 柚花

いま、わたしは、むしばが一つもない。

なぜなら、まいにち、はみがきを三回やっ

ているからむしばがわたしのはによってこな

いのだろうと思う。まずは朝ごはん、その次

にきゆう食、そして夕ごはんを食べてねるま

えにみがかく。すこしまえにはいしやさんにい

ってむしばがないかみてもらったら、「すご

くきれいだけど、はみがきは、ちゃんとやっ

てね。」と、言われた。もつとはぶらしでみが

くことを、がんばろうと思った。ふだんは、

フロスをつかってから、はぶらしをやっつい

る。気をつけなかったのは、ていきけんしん

のとき、「すこしはぐきが、けずれてます

ね。」と言われ、それから強くみがくことを

やめてやさしく、みがいている。わたしは、

「はみがきが本当に、大切なんだな。」と感じ

た。また、これからはもっとはを大切にしてい

いこう。と思い、今はにむしばがないことは、

とてもうれしい。いつものものようににはみがきを  
していたら、「きつと、はも、わたしたちと  
いっしよに、生きているんだな。」と、ふと思  
った。実は、はにも命がある。よく考えてみ  
たら、はもきれいにしないときたなくなる。  
わたしたちといっしよだ。でも、きれいにす  
ると、いつまでもかがやける。あたり前のよ  
うにごはんをたべているけどおいしく食べら  
れるのは、元気なはがあるからたべられてい  
るんだなと、思った。もしも、はが元気じゃ  
なかつたら、ごはんもたべられないし、なん  
かモヤモヤするな。わたしたちは、はにかん  
しやをしなければならぬ。子供のはは、か  
ならずぬける。ぬけて時間がたったら大人の  
はが出てくる。「はも、わたしたちと同じで  
子どもと大人がいる。」と気付いた。  
わたしは、今でもむしばをやつつきたいと  
思っている。みんなもむしばゼロを目ざして、  
はぶらしをしっかきしよう。むしばをみんな  
でやつつけて、むしばゼロ。